

## 食品流通・包装懇話会のご案内

### 食品流通・包装懇話会平成29年度予定

	第154回	第155回	第156回	第157回
活動	見学会	講演会	講演会	講演会
日時	平成29.6.2 13時~17時	平成29.9.27 13時30分~17時30分	平成29.11.22 13時30分~17時30分	平成30.2.1 13時30分~17時30分

### 食品流通・包装懇話会平成28年度実績

#### 第150回 懇話会

講演日 : 平成28年6月23日(木)

見学先 : ①株式会社棚澤八光社 東京支社・工場  
②大田区産業プラザPIO「下町ボブスレー」

見学概要 : 異業種のめざましい技術の一端に触れるため、蒲田地区の特徴ある企業の見学とともに、その独自技術と製品開発の裏話を聞きました。

- ① 株式会社棚澤八光社様では、プラスチック金型のシボ加工等表面加飾について
- ② 「下町ボブスレー」では、ボブスレー実物の見学と開発秘話を聞きました。

参加者より : 第150回の見学会は「そこにしかできない技術をもっている会社」として、プラスチック成型金型によるシボ加工分野で、国内シェア約6割を持つ株式会社棚澤八光社東京支社・工場を訪問しました。「シボ」とは、皮革表面に見られる模様のごとで、同社の繊細な金型加工技術によって、立体感のある自然な模様の再現が可能になり、自動車の内装(ハンドル、ドア、シートなど)や住宅用内外装建材、家電の装飾など質感アップに貢献しています。

次に、ボブスレーの開発現場の話をお聞かせいただきました。ご講演いただいたのは、昭和26年創業の蒲田の機械設備製造のメーカーの(有)関鉄工所様です。ボブスレーの開発に携わる企業は100社を超えるとのこと、各社の協力で、機体そのものの開発から、広報活動まで幅広く活動しています。驚くのは、そのサポートは基本的に無償であるという事です。改めて物作りへの熱い情熱を感じました。

## 第151回 懇話会

講演日 : 平成 28 年 9 月 13 日 (火)

テーマ : 「プラスチックの加飾技術の最新動向」

講師 : MTO 技術研究所 所長 榊井 捷平 氏

講師より : 「加飾」とは対象物に何らかの装飾を施すことで、消費者の感性に即した売れる商品を作るための重要な手段であり、プラスチック分野の重要なテーマの1つとなっています。単なる加飾から、「機能性付与加飾」へと進展し、さらに、「塗装レス加飾」が注目されており、本講演ではプラスチックの加飾技術の概要、フィルム貼合・転写加飾等の主要な技術の現状ならびに最近の動向について実例をあげて説明し、今後の展開方向を示します。

受講者より : プラスチック成形品は、軽量性、量産性などに特徴がありますが、加飾により高意匠、高付加価値の製品に変える事ができます。見栄えに対する多様な要望にきめ細かくニーズを把握しながら、加飾技術は進化発展していくものと思われます。

テーマ : 「レーザーの基礎知識と包装における応用事例の紹介」

講師 : カンタムエレクトロニクス株式会社 取締役 吉留 正司 氏

講師より : 近年、包装や食品関係において、レーザーの採用が増えています。レーザー加工は非接触加工のため、異物混入の防止と磨耗がない安定した加工品位を維持できます。また、加工形状はデータ管理が可能のため、保管場所が不要で、データの選択も非常に容易です。今回、レーザーとは何か?という基礎的な説明と包装における応用事例、期待されるレーザー加工をご紹介します。また、殺菌効果の高い DUV-LED や包装材の印刷に使用される UV インク硬化用の UV-LED 照射器もご紹介します。

受講者より : レーザーの原理、特徴、種類など基本的なことから包装分野での応用事例、関連技術としての UV-LED の最新事例について、ていねいかつ分かりやすく紹介いただきました。

## 第152回 懇話会

講演日 : 平成 28 年 11 月 17 日 (木)

テーマ : 「LED 照明下での色の見え方と色彩デザインー 食品及びパッケージを中心にー」

講師 : (地方独立行政法人) 大阪市立工業研究所 吉村 由利香 氏

講師より : 近年、省エネルギーの利点から LED 照明が急速に普及し、オフィスや工場、店舗、家庭などで使用されています。現在主流の LED 照明は疑似白色光と呼ばれ、従来の蛍光灯や白熱球、太陽光とは光の性質が異なり、色彩の見え方(演色性)の違いによって製造や流通、店舗での製品色彩のトラブルも懸念されます。今回は、LED 照明下の食品やパッケージの色彩を中心に解説し、LED 照明下で好まれる色やヒトの生理面への LED 光源の影響なども説明します。

受講者より : 照明器具としての①LED 照明の光源としての特徴②LED 照明下で色彩の見え方の特徴（演色性）を考慮しながら、食品及び食品包装のデザインを色彩との関係について講演いただきました。食品包装でとくに注意しなければならない点への理解が深まる等、たいへん有意義な講演でした。

テーマ : 「光照射（蛍光灯および LED）が透明容器詰食品の品質に及ぼす影響」

講師 : 東洋食品工業短期大学 教授 後藤 隆子 氏

講師より : 消費者の食品の安全性重視にともない、透明容器の需要が増加していますが、透明容器は光によって食品が劣化しやすいため、短時間で商品性を失うこともあります。しかし、普及しつつある LED 照明照射下の容器詰食品の品質に与える影響はあまり知られておらず、実際の保存試験の結果をもとに光が食品に及ぼす影響について解説します。

受講者より : LED 照明が実際の容器詰め食品、飲料への影響をはかる保存試験の状況をビジュアルデータによって、分かりやすく知る事ができました。これからの商品設計、容器設計の面からも非常に有意義な講演でした。

## 第153回 懇話会（シンポジウム）

2030 年を見据えた食品包装の未来について、参加者とともに語るシンポジウムを開催いたしました。

講演日 : 平成 29 年 1 月 27 日（金）

基調テーマ : 「将来の食品・包装の動向と期待される関連技術」

講師 : 一般社団法人日本食品包装協会 理事長 農学博士 石谷 孝佑 氏

講師より : 2030 年は目の前に迫っていますが、10 年先も見通せなくなっています。そして、世界情勢の混乱、資源・食糧価格の暴騰、欧州・中国経済の減速、石油価格の暴落などが生じています。技術面では、ICT、IoT、ロボット技術の進展が社会を変えつつありますが、日本はまだ充分国際化されておらず、その象徴が「包装食品」と考えられます。日本は人口減少社会の中で、蓄積した技術を見直し海外で活躍する時代を作り出す必要があり、その中で期待される技術を改めて考えてみたいと思います。

技術講演 : 「食品容器の変遷とプラスチック容器の将来について」

講師 : 東罐興業株式会社 技術開発本部 研究開発部 部長 中條 修 氏

講師より : 食品容器は缶、ガラス瓶、紙、プラスチックなど様々な材料を用い進化を遂げて来ました。その中でプラスチックの果たした役割も大きく、近年は環境問題や高齢化、単身世帯の増加、フードロス、CVS の大幅躍進などの市場の変化への対応も食品容器に求められています。今回は食品容器のこれまでの変遷とプラスチック製食品容器の将来予測について考えを述べてみたいと思います。

技術講演 : 「将来の物流環境と食品の輸送」

講師 : 株式会社日通総合研究所 物流技術環境部 研究主査 室賀 利一 氏

講師より : 人口減少や地方の過疎化などにより、高齢者を中心に生活に必要な食品を手に入れることが難しくなっています。都市圏ではネットスーパーや生協等の活用が可能ですが、過疎地では食品を購入できる店舗すらないことが多くなっています。こういった背景から、ネット販売+宅配のニーズが高まることが予想される一方、ドローンによる宅配の検討がされるなど、新たな技術による宅配の可能性の検討もされてきています。本講演では、物流を取り巻く社会的な背景を踏まえながら、新たな技術を活用した生鮮食品を中心とした宅配の可能性について示します。

受講者より : 今回は、懇話会員相互の情報交換を更に活性化する目的で、会員参加型のシンポジウムが、「2030年に向けた将来期待される『食品包装関連技術』」と題し開催された。前半は、社会情勢やプラスチック容器、物流に関する話題を各々の講師からご提供いただき、後半に質疑・ディスカッションを行った。

包装業界の将来を見ていく上で、現状の延長ではなく未来をイメージすること、バイオミメティクス（生物模倣）がヒントになり得るだろうとの意見でシンポジウムを終了した。食品流通・包装懇話会として初のシンポジウムではあったが、一歩踏み込んだ意見が得られ、出席者からは通常の講演会に比べ幅広い知識や考え方を収集できたとの声を得た。今後は、更に多くの受講者と講師とのコミュニケーションが図れるよう工夫したいと考えている。

### 参考：食品流通・包装懇話会平成27年度活動

例会	開催日時	テーマ概要
146回	平成27年7月17日	フードディフェンスについて ①(一財)日本食品分析センター 山田 瑠美子 氏 「クレーン対策に役立つ異物検査～分析手法と事例の紹介」 ②北海道大学名誉教授 一色 賢治 氏 「フードディフェンスやリコール問題について」
147回	平成27年10月2日	包装設計の評価法について ①千葉大学大学院 工学研究科 下村義弘氏 「人間の行動および生理機能の評価と包装設計」 ②公益財団法人 流通経済研究所 研究員 三坂 昇司氏 「『攻めのパッケージ』に向けた2つの可能性 ー流通・マーケティングから見た新しいパッケージ戦略ー」
148回	平成27年11月17日	①三島食品(株)関東工場 埼玉県坂戸市在 業務用のレトルトパウチ食品を生産している工場です。 ②醬遊王国 弓削多醬油(株) 埼玉県日高市在 醬油の製造過程を見学しました。
149回	平成28年1月21日	①「進化を遂げる生鮮食品パッケージ」 (株)寺岡精工フードインダストリーシステム事業部パッケージングソリューショングループ 課長 矢野 光隆 氏 ②「トウモロコシの実と芯からのプラスチック」 群馬大学理工学研究院 分子科学部門 助教 橘 熊野 氏